

令和4年度 北九州市立一枝小学校学校経営方針

北九州市立一枝小学校
校長 吉武 義明

●学校スローガン 子どもが進んで学び、思いやりをもって生き生きと活動する学校
—— 『満足度100%』の学校 ——

目指す学校像 ～信頼される学校～
 ・学校に行くのが楽しいと思える学校
 ・子どもが意欲的に学ぶ学習が展開されている学校
 ・安心して通う（通わせる）ことのできる学校

目指す教職員像 ～信頼される教職員像～
 ・豊かな人間性とあたたかな愛情をもった教職員
 ・学ぶ楽しさを求め、自己研鑽に努める教職員
 ・高い危機意識と危機対応をもつ教職員

目指す子ども像
 ●学校教育目標 「一人一人がよさや可能性を發揮し自立する子どもの育成」
 保護者や地域に信頼され、子どもも教職員も誇りのもてる学校づくりの推進

学校に行くのが楽しいと思える学校
 ○良好な人間関係→温かみのある言動、児童相互の関係づくり(特別活動の充実)
 ○はきはきとしたあいさつ→笑顔で、相手を見て、はきはきと
 ○きまりを守る意識→きまりを守る意義や価値の指導を
 ○悩みや願いを伝えられる雰囲気→子どもの言葉、気持ちを傾聴し寄り添う姿勢を
 ○先生と児童との適切な距離感→親しき仲にも礼儀あり 言葉遣い名前の呼び方
 ○3名人の育成→あいさつ名人・そうじ名人・あったか言葉名人
 ○目的を明確にした行事や活動→一人一人に活躍の場を自身の所属意識を高める
 ○子どもの個性・特性を伸ばしながら、「居場所」としての学校をつくる

子どもが意欲的に学ぶ学習が展開されている学校
 ○楽しい授業の構築→先生の立ち振る舞い、話術・活動主体の授業・発言が認められる環境・タブレットの効果的な活用
 ○意欲がわく評価を→評価とは「褒めること」が基本。
 ・褒める内容、価値付け方、課題の提示
 ○学習規律の大切さ→発表の仕方、ノート、聴き方・話し方、学習道具など学校全体で統一を
 ○タブレットを活用したICT教育の推進
 ○読書習慣の定着→図書室の積極的利用、図書環境の充実、暗唱ブック「ひまわり」の活用
 ○朝自習時間の確保と内容の充実
 ○専科・持合い授業の推進→専門性を生かす、複数の目で児童を見る
 ○体育科の授業力向上→めあての設定、準備運動の定着、ホワイトボードの活用などと体力向上のための取組(なわとび集会・持久走大会等)

安心して通う(通わせる)ことのできる学校
 ○いじめがない→いじめの未然防止、早期発見、早期対応、解消までの継続した対応
 ・いじめアンケートの定期的な実施
 ○信頼できる教職員→危機管理意識が高い教職員集団
 ・どんなに小さな事でも、管理職や同学年(近接学年)に必ず、報告・連絡・相談を
 ・問題事象にはチームで対応(一人で悩まない)
 ・保護者との連携・・・提出物や保護者からの連絡には、確実に目を通す。連絡帳よりも電話を、電話よりも家庭訪問を。
 ・給食、掃除は、子どもとともに。時間は、大人が率先して守る
 ・教室はきれいで居心地の良い場所に・・・掲示物、机上の整理、ゴミの散乱等に注意
 ○多様性に対応できる→人権意識を高くもつこと、特別支援教育の重要性への理解
 ・道徳教育・人権教育の推進
 ・特別支援教育の一層の充実
 ○けが・事故等の処置及び対応。けがの処置を優先、首から上、加害児童がいるけがは原則として医療機関へ
 ・全体への報告と今後の対策協議
 ○不祥事防止の徹底→個人情報の取扱い、体罰、不適切な言動、飲酒運転、セクハラ・パワハラ等の禁止
 ※コロナ感染症防止のための対策の徹底

本年度の重点

- | | | |
|--|--|--|
| ①「子どもとともに」を念頭に
・率先垂範
・子ども同士の良好な人間関係の構築 | ②すべての教職員の共通理解と主任を中心とする協同体制のもと学校の教育力(人材育成)を高める。 | ③保護者・地域との連携
・積極的な情報発信
・心配なことこそ迅速に、連携して |
|--|--|--|